東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2008 年 10 月 3 日

預言者たち

親愛なるムスリムの皆様。崇高なるアッラーは、私たち人間への最大の恵み、施しとして、道を示し、アッラーへの信仰へと導く者として預言者たちを遣わされました。預言者を信じることは、イスラームの信仰のあり方の、切り離すことのできない一つの要素です。アッラーの聖なる使徒を敬意と愛情を持って思慕すること、全ての預言者たちにサラートやサラームを送ることは、この教えの最も重要な命令です。雌牛章第 285 節で見られる、「わたしたちは、使徒たちの誰にも差別をつけない」という表現は、私たちが愛する預言者ムハンマドがミラージュの贈物として私たちに持ち帰ってくださった普遍的なメッセージです。私たちムスリムは、この言葉により、人々の道を照らし、やすらぎと平和のリーダーとなった全ての預言者を信じます。預言者たちがいなければ人間はどのように信仰に至ることができたでしょう。我欲やシャイターンに惑わされる人間たちに、誰が警告できたでしょう。やすらぎや平和のために、忍耐強く、不屈の、そして穏やかなリーダーに、誰がなれたでしょう。

預言者たちは、慈愛の神の慈悲のまなびやの教師です。文明という点において、人間は彼らに多くの恩を受けています。預言者たちは人々を憎悪の沼から、唯一であるアッラーの唯一性を信じる道へ、知識と信仰の明かりへと招く聖なるみ使いです。こんにち、不注意さ、逸脱、無知、反乱、憎悪、復讐といった袋小路で窒息している人類は、他の時代の人々よりもなお、彼らを必要としているのです。

全ての預言者たちは、同じ神の言葉を伝えています。彼らは知識と行動、人生と徳、英知と文化、現在と未来、この世とあの世を出会わせ、仲をとりもつ指導者です。彼らは美と醜、有益なものと有害なもの、公正と抑圧、知識と無知、誠実さと見せかけを区別する、人々への導き手です。

アーデムは人類の父であり、ヌーフは技術のシンボル、イブラーヒームとイスマーイール、ヤークブは忍耐のシンボルです。ユースフは誠実さ、血筋のよさの代名詞であり、ムーサーは法と自由のための戦いの勇者、イーサーは愛と慈しみと許しの道しるべです。預言者ムハンマド（彼の上に平安あれ）は、知性、知識、美徳、誠実さ、忍耐、忠実さ、慈悲、慈愛、自分が正しい場合も自己を犠牲にすること、不正に対し声を大にすることのシンボルなのです。

私たちが愛する預言者、聖ムハンマド（彼の上に平安あれ）は、預言者たちのチェーンの最後の輪です。だからクルアーンでは、「預言者たちのうち最後の者」と述べられています。クルアーンと聖預言者（彼の上に平安あれ）によってこの教えは完成され、最も完全な状態とされたのです。アッラーがお慶びになられ、承認された教えは、イスラームです。人類は、最後の預言者（彼の上に平安あれ）が示された道を行くことによって、救いを得るのです。

アッラーの聖なるみ使いたちを自らの模範とし、彼らの道を行く者たちに吉報がもたらされますように。